

貸借対照表

一般会計等

(令和5年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	3	固定負債	-
有形固定資産	3	地方債	-
事業用資産	1	長期未払金	-
土地	-	退職手当引当金	-
立木竹	-	損失補償等引当金	-
建物	19,530,000	その他	-
建物減価償却累計額	△ 19,529,999	流動負債	197,156
工作物	-	1年内償還予定地方債	-
工作物減価償却累計額	-	未払金	-
船舶	-	未払費用	-
船舶減価償却累計額	-	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	-
航空機	-	預り金	197,156
航空機減価償却累計額	-	その他	-
その他	-	負債合計	197,156
その他減価償却累計額	-	【純資産の部】	
建設仮勘定	-	固定資産等形成分	10,116,838
インフラ資産	-	余剰分(不足分)	31,821,259
土地	-		
建物	-		
建物減価償却累計額	-		
工作物	-		
工作物減価償却累計額	-		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	-		
物品	2,055,960		
物品減価償却累計額	△ 2,055,958		
無形固定資産	-		
ソフトウェア	-		
その他	-		
投資その他の資産	-		
投資及び出資金	-		
有価証券	-		
出資金	-		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	-		
長期貸付金	-		
基金	-		
減債基金	-		
その他	-		
その他	-		
徴収不能引当金	-		
流動資産	42,135,250		
現金預金	32,018,415		
未収金	-		
短期貸付金	-		
基金	10,116,835		
財政調整基金	10,116,835		
減債基金	-		
棚卸資産	-		
その他	-		
徴収不能引当金	-		
資産合計	42,135,253	純資産合計	41,938,097
		負債及び純資産合計	42,135,253

行政コスト計算書

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

一般会計等

(単位:円)

科目	金額
経常費用	234,921,750
業務費用	43,576,785
人件費	17,567,140
職員給与費	14,263,674
賞与等引当金繰入額	-
退職手当引当金繰入額	-
その他	3,303,466
物件費等	26,009,645
物件費	26,009,645
維持補修費	-
減価償却費	-
その他	-
その他の業務費用	-
支払利息	-
徴収不能引当金繰入額	-
その他	-
移転費用	191,344,965
補助金等	191,344,965
社会保障給付	-
他会計への繰出金	-
その他	-
経常収益	2,390,060
使用料及び手数料	-
その他	2,390,060
純経常行政コスト	232,531,690
臨時損失	-
災害復旧事業費	-
資産除売却損	-
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	-
臨時利益	-
資産売却益	-
その他	-
純行政コスト	232,531,690

純資産変動計算書

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

一般会計等

(単位:円)

科目	合計	固定資産 等形成分	
		固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)
前年度末純資産残高	29,302,807	10,116,636	19,186,171
純行政コスト(△)	△ 232,531,690		△ 232,531,690
財源	245,166,980		245,166,980
税収等	245,166,980		245,166,980
国県等補助金	-		-
本年度差額	12,635,290		12,635,290
固定資産等の変動(内部変動)		202	△ 202
有形固定資産等の増加		-	-
有形固定資産等の減少		-	-
貸付金・基金等の増加		202	△ 202
貸付金・基金等の減少		-	-
資産評価差額	-	-	-
無償所管換等	-	-	-
その他	-	-	-
本年度純資産変動額	12,635,290	202	12,635,088
本年度末純資産残高	41,938,097	10,116,838	31,821,259

【様式第4号】

資金収支計算書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

一般会計等

(単位:円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	234,921,750
業務費用支出	43,576,785
人件費支出	17,567,140
物件費等支出	26,009,645
支払利息支出	-
その他の支出	-
移転費用支出	191,344,965
補助金等支出	191,344,965
社会保障給付支出	-
他会計への繰出支出	-
その他の支出	-
業務収入	247,557,040
税込等収入	245,166,980
国県等補助金収入	-
使用料及び手数料収入	-
その他の収入	2,390,060
臨時支出	-
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	-
臨時収入	-
業務活動収支	12,635,290
【投資活動収支】	
投資活動支出	202
公共施設等整備費支出	-
基金積立金支出	202
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	-
その他の支出	-
投資活動収入	-
国県等補助金収入	-
基金取崩収入	-
貸付金元金回収収入	-
資産売却収入	-
その他の収入	-
投資活動収支	△ 202
【財務活動収支】	
財務活動支出	-
地方債償還支出	-
その他の支出	-
財務活動収入	-
地方債発行収入	-
その他の収入	-
財務活動収支	-
本年度資金収支額	12,635,088
前年度末資金残高	19,186,171
本年度末資金残高	31,821,259

前年度末歳計外現金残高	144,104
本年度歳計外現金増減額	53,052
本年度末歳計外現金残高	197,156
本年度末現金預金残高	32,018,415

一般会計等財務書類：注記

1. 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

- ①有形固定資産……………取得原価
ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。
取得原価が判明しているもの……………取得原価
取得原価が不明なもの……………再調達原価
- ②無形固定資産……………該当なし

(2) 有形固定資産等の減価償却の方法

- ①有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法
なお、主な耐用年数は以下のとおりです。
建物 10年
物品 5年～6年
- ②無形固定資産（リース資産を除きます。）……………該当なし

(3) 引当金の計上基準及び算定方法

- ①徴収不能引当金
未収金については、過去5年間の平均不納欠損率により（又は個別に回収可能性を検討し）、徴収不能見込額を計上しています。
長期延滞債権については、過去5年間の平均不納欠損率により（又は個別に回収可能性を検討し）、徴収不能見込額を計上しています。

(4) 資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物
なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

(5) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

- ①物品及びソフトウェアの計上基準
物品については、取得価額又は見積価格が50万円（美術品は300万円）以上の場合に資産として計上しています。
ソフトウェアについても物品の取扱いに準じています。
- ②資本的支出と修繕費の区分基準
資本的支出と修繕費の区分基準については、金額が60万円未満であるとき、又は固定資産の取得価額等のおおむね10%未満相当額以下であるときに修繕費として処理しています。

2. 追加情報

(1) 財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

- ①一般会計等財務書類の対象範囲は次のとおりです。

一般会計

- ②地方自治法第 235 条の 5 に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

(2) 貸借対照表に係る事項

- ①売却可能資産の範囲及び内訳は、次のとおりです。

範囲：売却予定とされている公共資産

今年度該当する公共資産はありません。

(3) 純資産変動計算書に係る事項

純資産における固定資産等形成分及び余剰分（不足分）の内容

- ①固定資産等形成分

固定資産の額に流動資産における短期貸付金及び基金等を加えた額を計上しています。

- ②余剰分（不足分）

純資産合計額のうち、固定資産等形成分を差し引いた金額を計上しています。

(4) 資金収支計算書に係る事項

- ①基礎的財政収支 12,635,088 円

- ②既存の決算情報との関連性

	収入（歳入）	支出（歳出）
歳入歳出決算書	266,743,211 円	234,921,952 円
財務書類の対象となる会計の 範囲の相違に伴う差額	0 円	0 円
繰越金に伴う差額	△19,186,171 円	0 円
資金収支計算書	247,557,040 円	234,921,952 円

- ③資金収支計算書の業務活動収支と純資産変動計算書の本年度差額との差額の内訳

資金収支計算書

業務活動収支 12,635,088 円

減価償却費 0 円

純資産変動計算書の本年度差額 12,635,088 円

【様式第5号】

附属明細書

1. 貸借対照表の内容に関する明細

(1) 資産項目の明細

① 有形固定資産の明細

(単位:円)

区分	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A)+(B)-(C) (D)	本年度末 減価償却累計額 (E)	本年度償却額 (F)	差引本年度末残高 (D)-(E) (G)
事業用資産	19,530,000	-	-	19,530,000	19,529,999	-	1
土地	-	-	-	-	-	-	-
立木竹	-	-	-	-	-	-	-
建物	19,530,000	-	-	19,530,000	19,529,999	-	1
工作物	-	-	-	-	-	-	-
船舶	-	-	-	-	-	-	-
浮標等	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	-	-	-	-
インフラ資産	-	-	-	-	-	-	-
土地	-	-	-	-	-	-	-
建物	-	-	-	-	-	-	-
工作物	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	-	-	-	-
物品	2,055,960	-	-	2,055,960	2,055,958	-	2
合計	21,585,960	-	-	21,585,960	21,585,957	-	3

② 有形固定資産の行政目的別明細

(単位:円)

区分	生活インフラ・ 国土保全	教育	福祉	環境衛生	産業振興	消防	総務	合計
事業用資産	-	-	1	-	-	-	-	1
土地	-	-	-	-	-	-	-	-
立木竹	-	-	-	-	-	-	-	-
建物	-	-	1	-	-	-	-	1
工作物	-	-	-	-	-	-	-	-
船舶	-	-	-	-	-	-	-	-
浮標等	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	-	-	-	-	-
インフラ資産	-	-	-	-	-	-	-	-
土地	-	-	-	-	-	-	-	-
建物	-	-	-	-	-	-	-	-
工作物	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	-	-	-	-	-
物品	-	-	-	-	-	-	2	2
合計	-	-	1	-	-	-	2	3

③基金の明細

(単位:円)

種類	現金預金	有価証券	土地	その他	合計 (貸借対照表計上額)	(参考)財産に関する 調書記載額
財政調整基金	10,116,835	0	0	0	10,116,835	10,116,835
合計	10,116,835	0	0	0	10,116,835	10,116,835

2. 行政コスト計算書の内容に関する明細

(1) 補助金等の明細

(単位:円)

区分	名称	相手先	金額	支出目的
その他の補助金等	研修等参加者負担金	実施者	35,200	研修等の参加者負担金
	広域連合協議会分担金	全国後期高齢者医療広域連合協議会	20,000	全国広域連合協議会に対する 47広域連合一律の分担金
	職員人件費負担金	岐阜市ほか19市町村	188,626,528	職員派遣元の市町村への人件費負担分
	事務所管理費負担金	岐阜市	1,703,673	執務室(岐阜市柳津地域事務所)の 管理費の内広域連合の負担分
	光熱水費等負担金	岐阜市	520,336	執務室(岐阜市柳津地域事務所)の 光熱水費等の内広域連合の負担分
	空調設備改修工事負担金	岐阜市	308,783	執務室(岐阜市柳津地域事務所)の 空調設備改修費の内広域連合の負担分
	電話交換機更新負担金	岐阜市	130,445	執務室(岐阜市柳津地域事務所)の 電話機器購入費の内広域連合の負担分
合計			191,344,965	

3. 純資産変動計算書の内容に関する明細

(1) 財源の明細

(単位:円)

会計	区分	財源の内容	金額
一般会計	税収等	分担金及び負担金	245,166,980
		合計	245,166,980

(2)財源情報の明細

(単位:円)

区分	金額	内訳			
		国県等補助金	地方債	税収等	その他
純行政コスト	232,531,690	-	-	232,531,690	-
有形固定資産等の増加	-	-	-	-	-
貸付金・基金等の増加	202	-	-	202	-
その他	-	-	-	-	-
合計	232,531,892	-	-	232,531,892	-

4. 資金収支計算書の内容に関する明細

(1) 資金の明細

(単位:円)

種類	本年度末残高
現金	-
要求払預金	9,620
定期預金	31,811,639
合計	31,821,259